小学校の「学び方」「教え方」を変革する
小学校高学年における教科担任制の導入

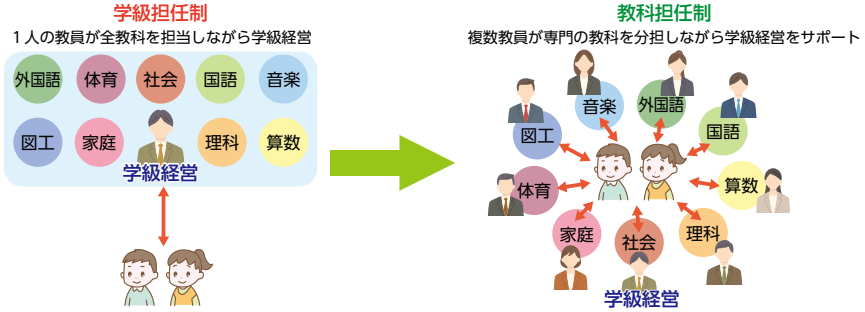
新しい知を創造する

世田谷区では、東京都の計画に先んじて、令和７年度(2025年度)から大規模校（１学年５～６学級)、小規模校（11学級以下）の一部に独自に講師を配置し、教科担任制の推進を図っています。

教科担任制とは

学級担任が全ての教科を指導するのではなく、担当する教科を分担（１教科＋算数＋道徳・特別活動・総合的な学習の時間）することで、集中的な教材研究を可能とし、授業の質を高める。

学級担任制と教科担任制との違い



教科担任制による見込まれる効果

- 教材研究の充実により、授業の質が向上する
- 担任以外の先生とのコミュニケーションが広がる
- 複数の教師が指導に当たり、情報共有することにより、多面的な児童理解ができる
- 中学校の教科担任制に早く慣れることができる

指導した教員の声

学年全員で子どもたちを見る意識が強まり、情報共有がスムーズになった。

１つの授業準備に掛けられる時間が増え、自信をもって授業を行えた。

高学年の子どもたちの声

担任の先生だけでなく、学年の先生や他の先生にも相談しやすくなった。

たくさんの先生から認められて嬉しかった。

問 教育指導課　☎5432-2711 FAX 5432-3041

区立中学校部活動の地域連携・地域展開

新しい知を創造する　共に学び成長し続ける

全国の中学校で、部活動の地域連携・地域展開が進められています。これは、将来にわたって生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目的としており、併せて教員の働き方の見直しにつながる取組みです。

世田谷区の区立中学校では、地域の人材が部活動の指導に携わる「地域連携」の取組みを進めており、令和７年度(2025年度)モデル校の玉川中学校では、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団が部活動運営支援を担っています。

- 配置した部活動支援員が、生徒への技術的な指導や大会の引率等を行います。
- 日頃の部活動の実施管理や、部内連絡用の部活動アプリの導入等、部活動運営にかかる教員の業務を軽減する支援を行います。

令和８年度(2026年度)以降、対象の中学校を順次拡大していきます。また、「学校部活動を段階的に地域クラブ活動に移行していく（地域展開)」とする国の方針を見据えた取組みも、並行して進めていきます。

問 地域学校連携課　☎5432-2723 FAX 5432-3025